令和４年度
学校だより
ＮＯ．１０
Ｒ５．２．２７

中道南小だより 南っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立
中道南小学校
（児童数６９名）
編集：校長 小林 和仁

授業参観・学年総会ありがとうございました

２月17日には１～５年生、24日には６年生の授業参観が行われました。今回も、感染症対策として参観人数を制限させていただきましたが、授業や活動としては、昨年度と違い、合唱や合奏などが取り入れられた内容となりました。

１年生は親子活動として、親子で楽しく体を動かす活動を行いました。はじめは「ツバメダンス」で体をほぐし、羽子板を使った羽根つきやボール運動などを取り入れ、子どもたちは笑顔いっぱいで楽しい時を過ごしました。２年生は「自分ものがたり発表会」として、生まれた時から現在の様子を写真を使ってアルバムにし、自分ものがたりとして発表しました。できるようになったことや図工で作った作品の紹介なども取り入れ、一人一人が自信をもって発表していました。３年生は、学習したことやできるようになったことをクイズにして出題したり、音読劇や合奏をしたりと保護者と楽しく交流しました。クイズは、選択肢に工夫やユーモアが見られました。４年生は「10歳を祝う会」として、ＶＴＲで将来の夢を発表し、呼びかけとして感謝の気持ちを伝えてからプレゼントを渡しました。サプライズとして親から手紙が渡され、子どもを膝にのせてのスキンシップの場面もありました。５年生は、社会科の授業で調べたことを１人１台端末（クロームブック）にまとめ、一人一人がプレゼンテーションをしました。調べた資料のどの部分を説明として取り上げるか、また効果的な画像をどう選ぶかなど、聞く人のことを一生懸命に考えた発表でした。６年生は、親に感謝する会を開きました。はじめにボール運動によって親子で体をほぐしました。後半に入ると、まずはスライドが上映され、生まれてから６年生になるまでのその時々の画像が流れ、親子で思い出を振り返りました。次に呼びかけをして、感謝の気持ちを伝え、思いを込めた手紙と家庭科で製作したティッシュケースカバーをプレゼントしました。もうすぐ卒業する６年生、気持ちを込めながら精一杯に感謝の気持ちを伝えることができました。

どの学年も工夫を凝らした授業や活動、心あたたまる会となりました。何より子どもたちが真剣に、そして、楽しそうに活動している姿が印象的でした。お忙しい中、参観していただいたこと、また、この日のためにご協力いただいたことに対して心より感謝申し上げます。

気持ちを込めて・・・卒業制作

卒業式が近づく中で、６年生は南小の伝統になっている２つの卒業制作に取り組みました。一つは書道（条幅紙による作品）です。今年度も、地域にある常光寺の切刀京子先生をお招きし、親切丁寧に指導していただきました。２回に渡って指導していただいたおかげで、とても上達し、一人一人の思いがしっかり表現された四字熟語の書が完成しました。もう一つは、この地域ならではの取り組み、風土記の丘研修センターでの「縄文土器づくり」です。大きくて難しい土器づくりに悪戦苦闘でしたが、先生方の懇切丁寧な指導により、最後には当時さながらに縄目や模様をつけ、一人一人の個性が光る作品になりました。この土器は、乾燥させてからセンターで焼いていただいたくことになっています。焼き上がると一段といい表情になるのではないでしょうか。この２つの作品は、卒業式当日、会場に飾られます。

来年度に向けて新児童会が始動しました

第２回児童総会

令和４年度の児童会活動を振り返る第２回児童総会が、２月３日に行われました。総会の前には、令和５年度の新児童会役員の当選証書の授与と認証式、児童会引継ぎ式が行われ、いよいよ新年度に向けて体制づくりが始まりました。児童総会は、感染症対策としてリモートでの開催になりましたが、各学年からはたくさんの賛成意見が出されました。コロナ禍で思い描いたように活動できなかったこともありましたが、何ができるかを考え実行してきた児童会本部役員や６年生、そしてすばらしい南小にしようと協力してきた全校児童のみんなに拍手を送りたいと思います。

臨時代表委員会

２月７日には、新児童会による臨時代表委員会が行われました。議題は「６年生に贈る会」について、お世話になった６年生に贈る素晴らしい会にしようと、質問や意見が多く出されました。この会に参加した１年生や２年生からも、しっかりと賛成意見が出されました。今年度は、リモートに加え各教室や体育館を使用しての会となります。現在準備の真っ最中ですが、感謝の気持ちがしっかり伝わるように取り組んでほしいと思います。

新　会　長：市中心晴（５年）
新副会長：長塚美天（５年）　・　石原奈織（４年）
運営委員：飯塚凪咲・池谷来輝・酒井凛音（４年）

出前授業による「平和」学習

２月２日に、５年生と６年生に向けて、元甲府市立池田小学校長の高野裕先生を講師として平和学習の出前授業が行われました。高野先生は、池田小学校長の時に、かつて池田小の校長だった八巻太一先生が戦前に沖縄に渡って創設した沖縄の女学校に通っていた元女学生の上原はつ子さん（はっちゃん）から、八巻先生が勤務した池田小学校に記念品を贈りたいという電話を受け取ったことから交流を始め、個人での研究を進めてきました。授業は、沖縄の地形や文化の紹介から始まり、現在も大きな問題として残る米軍基地や飛行場問題、そして唯一の地上戦となった沖縄戦の歴史から「戦争」について考え、学ぶ展開でした。高野先生は、以前の新聞取材で「戦争を体験したことのない僕らが『平和』という抽象的な概念を伝えるには想像力が求められる。教える側が切実さをもって伝え、対話や交流を通じて子どもの中に残す必要がある」と語っています。子どもたちは、授業を通してこの気持ちを受け止め、「平和」の大切さについてそれぞれの感想を持つことができたようです。

地域に育まれた南小･･･ありがとうございました

南小の大きな特色の一つとして、地域に育まれた教育活動が挙げられ、子どもたちは地域の方々による活動をいつも楽しみにしています。子どもたちの学力向上を目指す取組である「放課後学習教室」や体力向上を目指す「放課後スポーツ教室」、豊かな情操教育を育むための「読み聞かせ」、平和教育や農業体験によって、よりよく生きていくことの大切さや素晴らしさを考えるきっかけとなる活動など、これまでたくさんの地域の方々の愛情によって南小の子どもたちの教育が支えられています。今年度の活動が終わりに近づいていますが、今後とも南小の子どもたちのために、お力添えをいただけるようお願い申し上げます。

学校だよりは、南小ＨＰにカラー版でアップしております。　ぜひご覧ください
中道南小　検索　もしくは QRコードで